

幌延町

共に拓き、共に創り、未来へつなぐ！～笑顔と希望に満ちあふれるまち ほろのべ～

北海道の北部に位置し、北緯45度線上にある広大で豊かな自然に恵まれた町。主な観光資源として、日本唯一の「トナカイ観光牧場」、幻の花「青いケシ（ブルーポピー）」、「幌延ビジターセンター（利尻礼文サロベツ国立公園）」、「金田心象書道美術館」などがある他、町の総面積の6割以上を占める森林資源や、町内に点在する水資源（湧水）など自然資源も豊富に存在している。



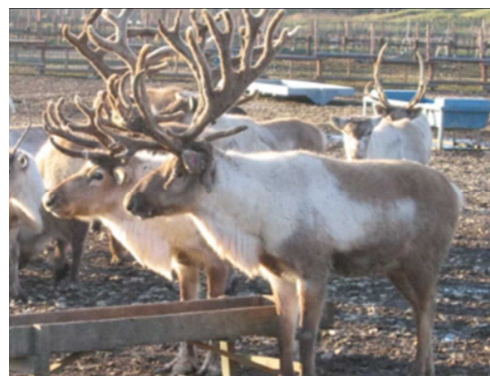
また、基幹産業である酪農業から生産される生乳のほか、社会福祉法人で飼育・加工されている合鴨製品、豊かな自然の恵みである山菜などが食資源としてあげられる。

関連指標	数 値
【人 口】	2,294 人
【面 積】	574.1 km ²
【出生数】	18 人
【世帯数】	1,238 世帯
【合計特殊出生率】	1.63

(出典：住民基本台帳 (R2.1.1), 人口動態統計 (R2))

1 町の特徴

- (1) 町の人口は、3,095人（平成7年国勢調査）から2,447人（平成27年国勢調査）と減少傾向にある。
- (2) 平成24年から平成30年までの出生数の平均は、23.7人で減少傾向にあるが、合計特殊出生率は1.68（平成27年）と、全道及び全国の数値を上回っている。
- (3) 就業者数は、平成27年現在で1,391人となっており、産業別にみると第3次産業従事者が858人で、全体の61.7%を占めており、「医療・福祉」（167人）、「学術研究、専門・技術サービス業」（105人）、「卸売業・小売業」（100人）等の従事者が多くなっている。



【トナカイ観光牧場】

2 町独自の少子化対策・子育て支援施策・移住定住施策等

幌延町で思い描く結婚・出産・子育ての形をかなえることができるよう、出会いの場の創出や妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない包括的な支援、地域全体で子育て家庭を支える環境の整備を推進している。

(1) こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児宅を保健師等が家庭訪問し、母子の健康面や養育環境の確認、育児に関する不安や悩みの聴取、相談、子育て支援に関する情報提供等を行っている。

(2) 放課後児童クラブ運営事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に過ごす場所を確保するとともに、その健全な育成に向けて、保護者で組織する運営協議会が安定的に運営できるよう支援を行っている。

(3) 子ども医療費助成

疾病の早期診断と早期治療を促進し、子どもの保健の向上と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、原則18歳までの子どもの医療費を助成している。

(4) 幌延町婚活支援事業（幌延にCONかい？）

平成28年に幌延町婚活支援協議会が設立され、独身の男女の出会いの場・きっかけづくりの場の提供をするため、イベントの企画・運営を行っており、夏はバーベキューや花火、冬はクリスマスパーティーやバレンタインイベントなどを開催している。町では運営にかかる経費を補助し、活動を支援している。

(5) 新婚生活応援事業

移住・定住対策及び少子化対策の強化のため、幌延町で新婚生活を開始する新婚夫婦に対し、住居費や引越費用の一部について、30万円を上限に助成している。

3 施策を実施するに至った背景及び今後の展望

本町では、子育てにおける負担感の増大や経済的な理由等から、希望する結婚・出産と現実とのギャップがみられている。また、母親の就労意欲の高まりから保育ニーズが拡大するとともに、社会環境の変化や子育ての孤立化等を背景に児童虐待が社会問題化しており、地域全体で子育て家庭を支え、子どもを健やかに育む環境づくりが求められている。

結婚の希望を叶えるため、独身の男女の出会いの場・きっかけづくりの提供をするとともに、婚姻に伴う新生活の経済的支援を行っている。

子育て支援では、幼児教育の充実と預かり保育や一時預かり等、多様な保育ニーズへの対応に取り組んでいる。さらに、共働き家庭の子どもの放課後の居場所を確保するため、放課後児童クラブを開設し遊びや生活の場を提供している。

今後も希望する結婚・出産を叶えることができるよう、出会いの場や経済的支援のさらなる充実を図るとともに、地域の中で安心して子育てができるよう、妊娠期からの切れ目のない相談支援体制の強化を図っていく。



【幌延町認定こども園「たんたん」】



【幌延にCONかいイベントの様子】